

第11回 MaSC 技術交流会 Real Exchange

自己完結水素インフラを支える 先端技術とその未来像

東北大学 産学連携先端材料研究開発センター (MaSC) では東北大学の先端的なニーズと産業界のニーズのマッチングを模索し、オープンイノベーションに繋げていくことを目論み、四半期に1回程度、MaSC 技術交流会 "Real Exchange" を開催しております。第一線の研究者の講演とそれに続く産と学とのパネルディスカッションをお楽しみ下さい。

開催概要

オーガナイザー：

東北大学 金属材料研究所 河野 龍興 特任教授
東北大学 産学連携機構 企画室 清水 一徳 特任准教授

モデレーター：

東北大学 MaSC 多喜 義彦 客員教授

パネリスト：

一般社団法人 オーシャンライフ協会 理事 比嘉 良尚 様
三菱地所株式会社 スマートエネルギーデザイン部 澤部 光太郎 様
みやぎ生活協同組合 環境管理室 大原 英範 様

2022年

3月29日 (火)

13:00-17:00

オンライン (Webex)
参加無料

プログラム

1	開会挨拶	古原 忠 MaSC センター長	13:00-13:05
2	Introductory talk	河野 龍興 特任教授	
	自己完結水素インフラとその進化		13:05-13:20
3	招待講演		
	① 産業技術総合研究所 再生可能エネルギー研究センター 古谷 博秀 研究センター長	カーボンニュートラル化に資する産総研 FREA の水素技術	13:20-13:50
	② 東北大学 田路 和幸 名誉教授	HEV 中古 LiB を用いた再生可能エネルギーの安定化システムの開発	13:50-14:20
4	講演		
	① 東北大学 未来科学技術共同研究センター 千葉 一美 特任准教授	Made In 東北蓄電池によるエネルギーの有効活用	14:20-14:35
	② 東北大学 材料科学高等研究所 所長 折茂 慎一 教授	高密度水素貯蔵を目指す材料科学	14:35-14:50
	③ 東北大学 多元物質科学研究所 雨澤 浩史 教授	燃料電池開発の現状と超高効率化に向けた新たな取り組み	14:50-15:05
		休憩	15:05-15:20
5	パネルディスカッション	水素インフラで描く未来像	15:20-16:50
6	ラップアップと閉会挨拶		16:50-17:00

モデレーター プロフィール



多喜 義彦 客員教授

大学在学中の1970年、開発設計の受注を契機に創業。1988年システム・インテグレーション株式会社を設立し、代表取締役役に就任。新事業開発のプランナーとして、事業の枠組みから製品の具体的仕様、販売計画に至るまで、これまでおよそ1000社（グループ、関連会社を含む）に及ぶ企業と顧問契約を結び、3000件以上の開発テーマを創出してその支援に携わり、現在も40社以上の技術顧問を務める。

連載:「開発原理」「リアル言えない大事」「思考回路」(日経xTECH(クロステック))、「BP通信」など多数。

著書:『新事業創出のための“言えない大事”』『ものづくり 無敵の法則』『価格競争なきものづくり』(日経BP)、『開放特許で儲ける法』(日本実業出版社)、『超利益の材料は足元にある』(ダイヤモンド社) ほか

メインオーガナイザー プロフィール



河野 龍興 特任教授

略歴

1993年 株式会社東芝入社 研究開発センターに配属

2004年 東北大学金属材料研究所 客員助教授 兼任

2005年 東北大学大学院環境科学研究科 非常勤講師 兼任

2012年 東芝アジア・パンフィック社 水研究センター センター長

2014年 株式会社東芝 次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム担当部長

2016年 東北大学金属材料研究所 特任教授

2019年 東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 兼任

専門分野

水素エネルギー（水素製造、貯蔵、利用）、蓄電池

申込締切：2022年3月25日（金）

申し込み方法：

以下のURL または QR コードよりお申し込み下さい。

<https://forms.gle/R6566pUjZJGHQSiC6>



お問い合わせ先：

東北大学産学連携先端材料研究開発センター 連携推進室

TEL：022-217-3826

E-mail：masc-renkei@grp.tohoku.ac.jp

主催：東北大学 産学連携先端材料研究開発センター（MaSC）

共催：産学連携機構、金属材料研究所、材料科学高等研究所、材料科学拠点イノベーション創生ウィング



東北大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています